



清川泰次と昭和

2015年8月8日|土| — 12月6日|日|

開館時間: 10:00~18:00(最終入館は17:30まで)

休館日: 毎週月曜日 *ただし9月21日(月・祝)、10月12日(月・祝)、11月23日(月・祝)は開館。9月24日(木)、10月13日(火)、11月24日(火)は休館。

観覧料: 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

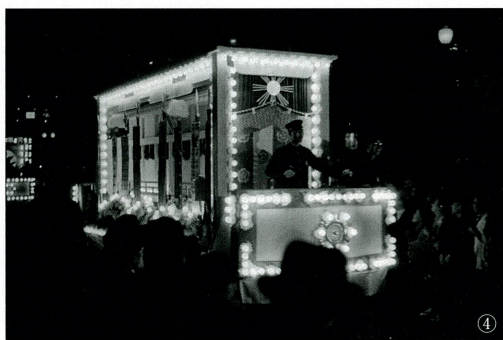
*障害者の方は100円(80円)。ただし障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者(当該障害者1名につき、1名に限る)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。

* ()内は20名以上の団体料金 *小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL:03-3416-1202 <http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>
[交通案内] 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分





1938(昭和13)年



1939(昭和14)年



1946(昭和21)年 京都にて



1946(昭和21)年 浜松にて

清川泰次と昭和

戦後、〈もの〉にとらわれない抽象的な表現を追い求め続けた清川泰次(1919-2002)にとって、昭和という時代はどんな時代だったのでしょうか。

清川が出身地の静岡県から上京し、慶應義塾大学経済学部の予科に入学した昭和11(1936)年は、「二・二六事件」が起きた年でした。大学入学後まもなく体調を崩した清川は、しばらく休学し、その間に写真と油絵の制作を始めました。再び大学へ通い始めた昭和16(1941)年、太平洋戦争がはじまります。清川は教育召集で軍隊生活や勤労奉仕などを経験し、大学を卒業したのは、太平洋戦争も末期となった昭和19(1944)年、25歳の時でした。清川が学生として過ごした時期は、まさに日本が戦争へと突き進んでいった時代と重なります。

本展では、絵画作品とともに、昭和13(1938)年頃から戦後間もない昭和21(1946)年までの間に清川が撮影した白黒フィルムを、新たにプリントして展示します。これらは、大学の写真部に所属していた清川が、写真の勉強のために構図や撮影方法などを工夫しながら、日常生活を題材に撮った写真です。普段の営みのなかで、市井のひとりとしての視線から身の周りの物や、家族や知人、街などが捉えられています。そこには、今も変わらない日常風景から、戦争の暗い影が読みとれるものまで、当時の社会を映した時代の断片が記録されています。

終戦の直前に結婚した清川は、妻の実家のあった静岡県の二俣町(現・浜松市)でしばらく生活した後、昭和24(1949)年に、現在、当館が建つ世田谷区成城に居を構えました。戦後の清川は、写真からは離れ、画家として本格的に絵画制作に取り組むようになります。200号の大作《イエロー・バランス》(1951年)を中心に、戦争という激動の時代を過ごした清川が、〈もの〉から解放された抽象的な自由な世界へと向かっていったその後の足跡もご紹介します。



1940(昭和15)年



《イエロー・バランス》1951年

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

世田谷美術館の分館、清川泰次記念ギャラリーは成城の閑静な住宅街にあります。芝生が広がり、草花が咲く明るい庭と温かみのあるモダンな建築は、清川泰次のアトリエ兼住居を一部改装したものです。当館では清川泰次の作品を紹介するとともに、区民ギャラリーを併設し、区民の方々の創作活動を発表する場として、週単位でご利用いただいています。

(展示予定はホームページをご覧ください)



©宮本和義

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL:03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

[交通案内] 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分



世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL:03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



©宮本和義

◆ 向井潤吉の民家 絵画と写真
2015年8月8日(土)～12月6日(日)

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL:03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



©宮本和義

◆ 宮本三郎 写真家との対話 | 2015年8月8日(土)～11月1日(日)
◆ 特別展 第3回 宮本三郎記念デッサン大賞展 | 2015年11月8日(日)～12月6日(日)

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL:03-3415-6011(代表)

[展覧会のご案内] TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル)
<http://www.setagayamuseum.or.jp/>

*詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催

企画展

- ◆ 金山康喜のバリ—1950年代の日本人画家たち | 2015年7月18日(土)～9月6日(日)
 - ◆ 生誕100年 写真家・濱谷浩—もし写真に言葉があるとしたら | 2015年9月19日(土)～11月15日(日)
 - ◆ スペインの彫刻家フリオ・ゴンサレス—ピカソに鉄彫刻を教えた男 | 2015年11月28日(土)～2016年1月31日(日)
- ミュージアム コレクションⅡ
- ◆ おもしろいかたち・いろいろ | 2015年8月1日(土)～12月6日(日)